

株式会社ジェイプロジェクト

2011 年 2 月期 第 1 四半期決算説明資料

2011年7月21日
(証券コード:3063)

目次

I. 第1四半期 連結決算概要

連結損益計算書概要	-----	4
連結貸借対照表概要	-----	5
連結キャッシュ・フロー計算書概要	-----	6
セグメント別業績概況	-----	7
飲食事業の業態分析	-----	8

II. 第1四半期 トピックス

直近の売上高は震災前の水準まで回復	-----	10
新規出店・新業態が好調	-----	11
J-Value の推進により FL コストの低減が進行中	-----	12
既存店収益状況	-----	13
4 店舗を新規出店	-----	14
店舗数の推移	-----	15

III. 今後の取り組み

今期の出店方針	-----	17
第2四半期の出店状況	-----	18
今期の業績見通し	-----	19

I. 第1四半期 連結決算概要

連結損益計算書概要

(百万円)

	2011 年 2 月期 第 1 四半期実績		2012 年 2 月期 第 1 四半期実績		前年同期比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)	
売上高	2,325	100.0	2,167	100.0	93.2
売上原価	694	29.9	650	30.0 ①	93.7
売上総利益	1,630	70.1	1,517	70.0	93.0
販売管理費	1,630	70.1	1,549	71.5	95.0
営業利益 又は営業損失	0	0.0	△32 ②	—	—
営業外収益	22	1.0	83	3.9	377.9
営業外費用	20	0.9	20	0.9	99.8
経常利益	2	0.1	31	1.4	1315.1
特別利益	15	0.7	92 ④	4.3	601.4
特別損失	10	0.5	27	1.2	255.9
税金等調整前 四半期純利益	7	0.3	96	4.5	1346.8
四半期純利益 又は四半期純損失	△0	—	48	2.2	—

①原価低減の推進により、飲食事業単独での原価率は 25.0% となり前年同期比 1.4 ポイントの低減。連結ベースの売上原価は、ジェイトレードの取扱高増加により前年同期比で 0.1 ポイントの増加。

②J-Value によるコスト低減は順調に進捗しているが、震災による売上高減少の影響が大きく、営業損失を計上。

③撤退店舗の売却等により、固定資産売却益 92 百万円を計上。

連結貸借対照表概要

(百万円)

	2011年2月期 期末	2012年2月期 第1四半期末
【資産の部】		
流動資産	776	814
現金及び預金	220	233
売掛金	277	296
原材料及び貯蔵品	56	58
その他	222	225
固定資産	5,781	5,849
有形固定資産	3,940	4,005
建物及び構築物	2,567	2,657
土地	1,131	1,131
その他	241	216
無形固定資産	39	37
投資その他の資産	1,801	1,806
資産合計	6,557	6,663

	2011年2月期 期末	2012年2月期 第1四半期末
【負債の部】		
流動負債	2,266	2,092
買掛金	350	282
短期借入金 ※一年内返済予定長期借入金との合計	1,106	927
その他	809	882
固定負債	2,941	3,078
長期借入金	2,696	2,733
その他	245	344
負債合計	5,207	5,170
【純資産の部】		
株主資本	1,349	1,492
資本金	701	748
資本剰余金	631	678
利益剰余金	92	141
自己株式	△76	△76
純資産合計	1,349	1,492
負債純資産合計	6,557	6,663

連結キャッシュ・フロー計算書概要

(百万円)

	2011 年 2 月期 第 1 四半期実績	2012 年 2 月期 第 1 四半期実績	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	△81	8	税金等調整前四半期純利益 96百万円 減価償却費111百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242	56	新規出店など有形固定資産の 取得19百万円 有形固定資産の売却97百万円 差入保証金の差入36百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	93	△52	短期借入金の純減額3百万円 長期借入れ200百万円 長期借入金の返済338百万円
現金及び現金同等物の増減額	△230	12	
現金及び現金同等物の期首残高	361	119	
現金及び現金同等物の四半期末残高	131	131	

セグメント別業績概況

(百万円)

		2011年2月期 第1四半期実績	2012年2月期 第1四半期実績	前年同期比 (%)	ポイント
飲食事業 居酒屋、レストラン等での 飲食サービスの提供	売上高	2,200	2,006	91.2	J-Valueの推進により原価・経費の適正化が進み、各店舗の利益創出力は確実に向上。 震災による売上高の減少はまかない切れず、営業損失を計上。
	営業利益	△17	△42	—	
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	82	71	86.7	近隣施設との競合は厳しい状態が続くが、コストコントロールにより損失はほぼゼロまで縮小。 売上高回復のために、新規施設を検討中。
	営業利益	△2	△0	—	
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	61	49	81.6	社員寮の売却等に伴い、売上高・営業利益は減少したが、他のテナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS 刈谷」などは引き続き堅調に推移。
	営業利益	15	3	20.7	
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	89	131	147.8	ジェイトレードの取扱高が大幅に増加し、売上高が増加。 今期は、以前にも実施した舞台公演のチケット販売を予定。
	営業利益	4	6	149.6	

飲食事業の業態分析

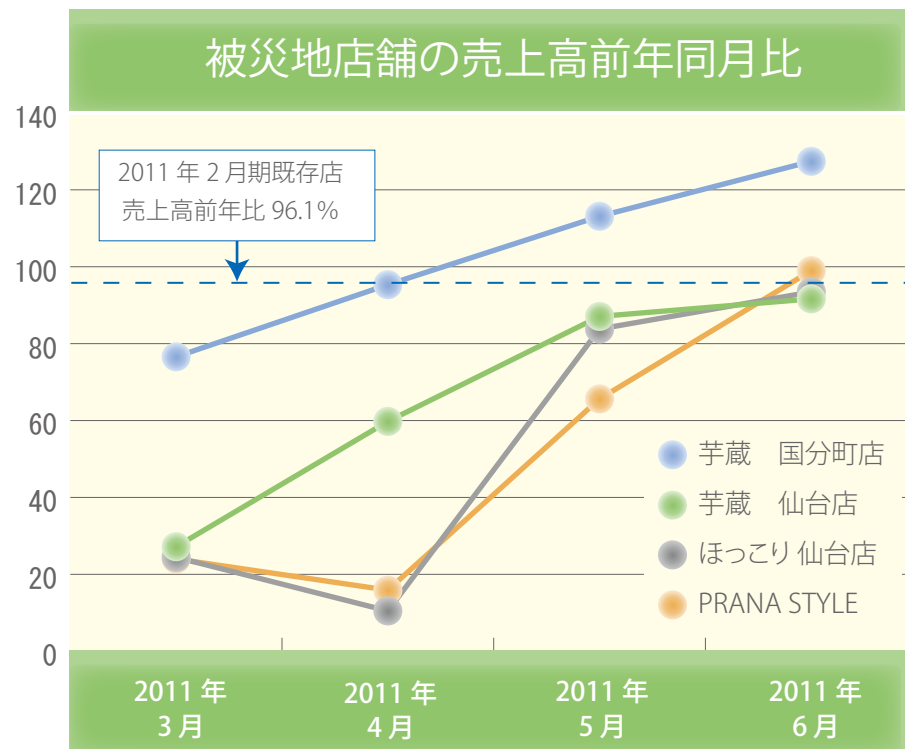
(百万円)

業態区分		2011年2月期 第1四半期実績	2012年2月期 第1四半期実績
居酒屋業態	売上高	1,560	1,486
	営業利益 (本部経費配賦前)	186	164
レストラン業態	売上高	280	194
	営業利益 (本部経費配賦前)	10	△28
SC 業態	売上高	303	244
	営業利益 (本部経費配賦前)	24	21

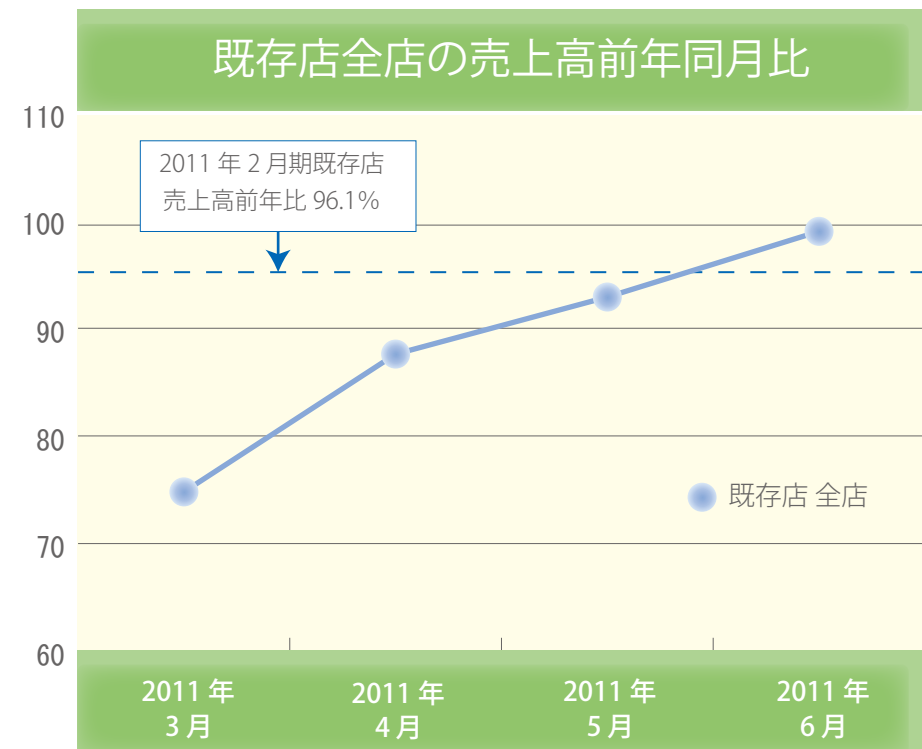
Ⅱ．第１四半期トピックス

トピックス. 1

直近の売上高は震災前の水準まで回復



被災地店舗は震災直後は大幅に売上高が落ち込んだが急速に改善し、店舗によっては震災前を超える売上高まで回復。



既存店全店においても、震災による自粛ムードにより売上高の落ち込みはあったが、直近は震災前の水準まで回復。

トピックス. 2

新規出店・新業態が好調

ターゲット顧客や出店地域などの多角化を目指した出店や新業態の開発により、新規出店店舗およびリニューアル店舗ともに売上高は好調に推移。

出店地域の多角化（新規出店）



従来の山手線内ではなく、私鉄沿線の主要駅である蒲田駅前に出店。
多様な客層により土日の売上も好調で
開店の翌月に収益店舗化を達成。

時間帯・ターゲットの多角化（新規出店）



夜間だけではなく、日中の売上が確実に
見込めるカフェ業態。
ターゲット顧客を若い女性層に設定。
開店の翌月に収益店舗化を達成。

飲むスタイルの多角化（新規出店）



立ち飲みから、個室、宴会まで様々な
スタイルの飲み方を提供。早い時間帯
の立ち飲みなど、新たな需要を開拓し
開店後翌々月に収益店舗化を達成。

ターゲットの多角化（リニューアル）



梅酒をメインにし、ターゲット顧客を
社会人女性に設定。女子会需要を取り
込むことで、リニューアル前と比較
して売上は前年同期比 110.3% に増加。

トピックス. 3

J-Value の推進により FL コスト※1 の低減が進行中

J - Value の推進

1. 営業支援室による店舗管理の徹底

▶ コスト削減案の共有と浸透が進む

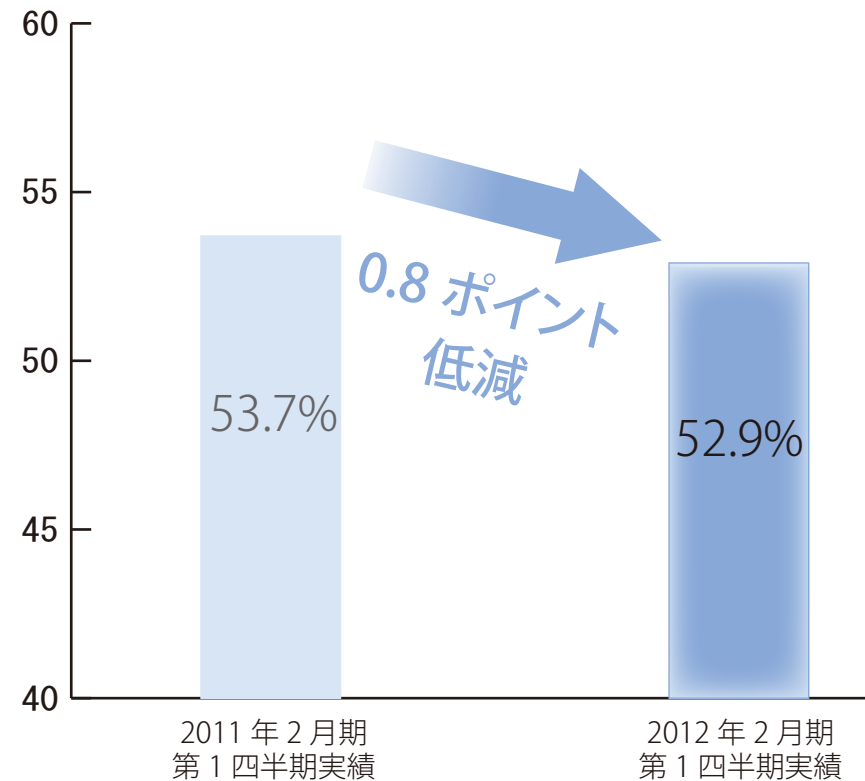
2. GM 制度の更なる拡大

▶ GM 店舗を 71 店舗へ拡大

3. Jトレードによる仕入業務の効率化

▶ 取扱高が大幅に増加し
コスト低減に寄与

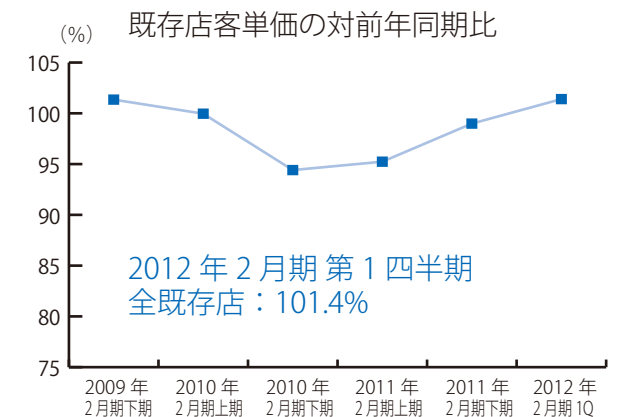
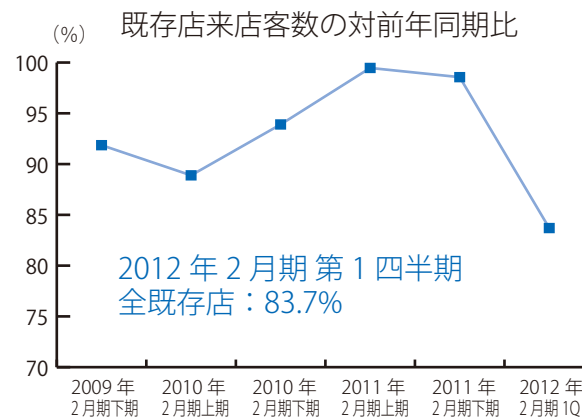
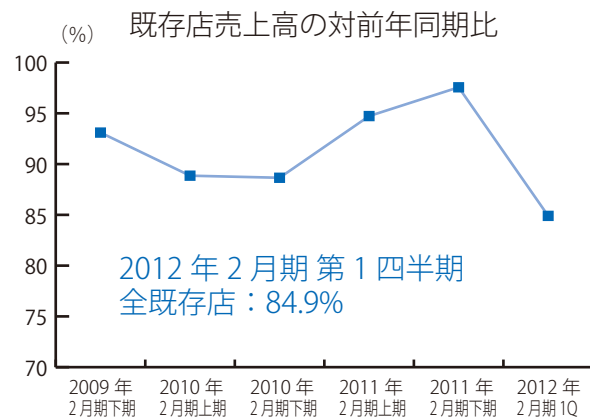
GM 制度導入店舗※2の FL コスト比率



※1 Food（材料費）+Labor（人件費）の売上高に占める比率 ※2 新規店舗・リニューアル・被災地店舗を除き、前期と比較が可能な店舗を集計

トピックス. 4

既存店収益状況



		2010年							2011年		2011年 2月期 実績	2011年			2012年2月期 第1四半期 実績
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	4月	5月	
居酒屋業態	売上高前年同月比	93.9%	94.5%	95.3%	95.5%	95.9%	101.1%	98.2%	95.8%	98.8%	95.6%	78.6%	92.9%	97.0%	89.2%
	来店客数前年同月比	95.4%	95.5%	96.9%	97.2%	97.2%	103.0%	99.7%	97.2%	98.9%	97.0%	82.5%	94.7%	97.7%	91.5%
	客単価前年同月比	98.4%	99.0%	98.3%	98.2%	98.6%	98.2%	98.5%	98.6%	99.9%	98.5%	95.2%	98.0%	99.3%	97.5%
レストラン業態	売上高前年同月比	110.3%	94.8%	95.4%	95.0%	108.1%	96.3%	103.0%	98.7%	99.8%	98.9%	51.7%	50.0%	75.4%	59.1%
	来店客数前年同月比	127.3%	106.7%	104.7%	99.6%	109.7%	105.8%	106.1%	95.4%	92.9%	107.1%	32.3%	28.2%	77.9%	45.9%
	客単価前年同月比	86.6%	88.8%	91.2%	95.4%	98.6%	91.0%	97.1%	103.5%	107.4%	92.4%	159.9%	177.2%	96.8%	128.8%
SC業態	売上高前年同月比	97.8%	99.0%	98.7%	100.1%	111.9%	95.4%	87.5%	88.6%	86.7%	96.3%	78.3%	91.3%	89.6%	86.4%
	来店客数前年同月比	100.8%	101.5%	100.3%	102.0%	116.2%	97.9%	87.3%	88.5%	87.1%	99.4%	81.7%	93.2%	90.7%	88.5%
	客単価前年同月比	97.0%	97.5%	98.4%	98.1%	96.3%	97.5%	100.2%	100.1%	99.5%	96.9%	95.8%	98.0%	98.8%	97.7%

※既存店基準：開店日より 24 ヶ月を経過した店舗を対象としております。

トピックス. 5

4 店舗を新規出店（2店舗をリニューアル）

芋蔵 蒲田西口店（新規出店・出店地域多角化）



オープン 3月1日
席 数 85 席
所在地 東京都大田区



九州・鳥取・秋田
芋蔵

猿 Cafe 栄町店（新規出店・ターゲット多角化）



オープン 3月3日
席 数 31 席
所在地 名古屋市中区



猿 Cafe

活々豚々（新規出店・新業態）



オープン 4月14日
席 数 92 席
所在地 名古屋市熱田区



全山形酒場
活々豚々
LIFE LIFE Don Don

三枳三蔵（新規出店・新業態）



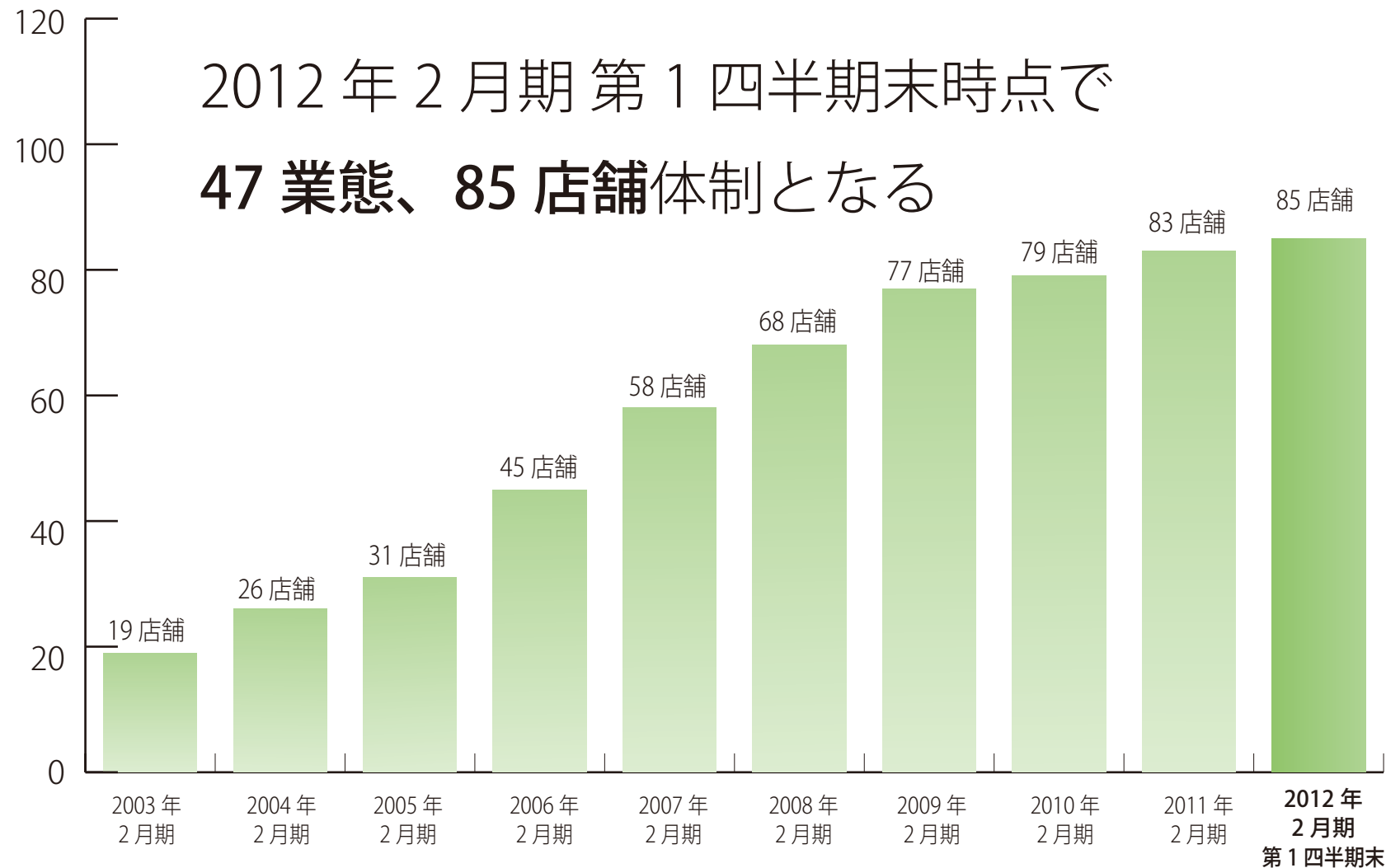
オープン 5月30日
席 数 200 席
所在地 仙台市青葉区



秋田・名古屋・東京
よくばり酒場
三枳三蔵
YOSHIKAWA

トピックス. 6

店舗数の推移



Ⅲ．今後の取り組み

今期の出店方針

従来型の出店は厳選し、多角化店舗に注力

従来型の出店

芋蔵を中心とした居酒屋業態を
山手線内へドミナント出店

出店候補を厳選し確実な案件に
のみ出店を行う

多角化店舗の出店

出店地域、時間帯、スタイルや
ターゲット顧客と言った様々な
軸で多角化した店舗の出店

多角化により自社競合も少なく
出店の幅が広がる
特にカフェ業態は積極的に出店

第2四半期の出店状況

2店舗を新規出店（1店舗をリニューアル）

猿 Cafe 八事店（新規出店・ターゲット多角化）



オープン 7月15日
席数 56席
所在地 名古屋市昭和区



猿 Cafe 桜通店（新規出店・ターゲット多角化）



オープン 8月中旬予定
席数 42席
所在地 名古屋市中村区



Pasta・Pizza House オッティモ（リニューアル・新業態）



オープン 6月16日
席数 72席
所在地 愛知県知多郡東浦町



今期の業績見通し

(百万円)

	2011 年 2 月期 通期実績	2012 年 2 月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	9,481	9,300	98.1
営業利益	40	54	133.5
経常利益	9	68	715.1
当期純利益	△315	32	—

【 I Rに関するお問い合わせ先】

株式会社ジェイプロジェクト

経営企画室 広報・ I R課

TEL : 052-243-0026

当資料は株式会社ジェイプロジェクトが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。

複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。